

輪地切り省力化技術に関する報告会

開催のご案内

平成 14～15 年にかけて阿蘇郡内の一部の牧野組合で実施してきた、輪地切り省力化のため取り組み(「モーモー輪地切り」と「牧野内の小規模点在樹林地除去」)に関する報告会を開催いたします。

郡内の牧野組合や行政、農畜産関係機関の方々を中心にお集まりいただき、実施した各牧野での取り組み状況や省力化技術としての有効性などについて広く知っていただくとともに、今後の継続や新たな導入に向けて、ざっくばらんな意見交換の場としたいと考えております。

さらに、今年度から始まった阿蘇草原再生への取り組みについてご報告し、忌憚のないご意見・ご意向を伺いたいと思います。

何卒、趣旨をご理解のうえ、ふるってご参加頂きますようお願い申し上げます。

開催概要

- ・主催：環境省自然環境局
九州地区自然保護事務所
- ・日程：平成 16 年 2 月 19 日(木)
- ・時間：13:00～15:30(12:45 より受付)
- ・場所：阿蘇いこいの村 会議室
- ・対象：草原景観維持事業実施牧野組合、阿蘇郡内牧野組合員、行政・関係機関担当者 等
- ・ゲストコメンテーター：
独立行政法人農業技術研究機構
近畿中国四国農業研究センター
農学博士 高橋佳孝氏

プログラム

1. 開会(13:00)
2. あいさつ - 環境省九州地区自然保護事務所 所長 新井正久
- 農業技術研究機構 近畿中国四国農業研究センター 高橋佳孝氏
3. 草原景観維持事業について
平成 14 年、15 年に行われた草原景観維持事業の実施報告
草原景観維持事業を実施した牧野組合からの報告
モーモー輪地切りや樹林地除去を実施した牧野組合より、導入の経緯、省力化の効果、輪地としての評価、実施の際の問題点や改善方策、今後の継続意向などについてご報告いただきます。
意見交換 - 輪地切り省力化に向けて参加者、報告者にゲストを交え、自由な意見交換を行います。
4. 阿蘇草原再生について
阿蘇草原再生への取り組みの概要
平成 15 年度牧野組合調査中間報告(組合長に対して実施させて頂いたアンケート調査)
意見交換 - 阿蘇草原再生に向けての意向や今後の調査・事業等について意見交換を行います。
5. とりまとめ、その他
6. 閉会(15:30)

お問い合わせ先：環境省九州地区自然保護事務所 担当/山部、佐々木
〒869-2225 阿蘇郡阿蘇町大字黒川 1180
TEL：0967-34-0254 FAX：0967-34-2082

輪地切り省力化に向けたとりくみ

環境省では、草原の維持・復元を支援するために、次の事業を実施してきました。

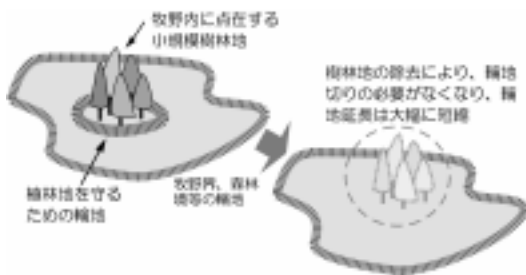
「モーモー輪地切り」の普及推進

- 「モーモー輪地切り」(実証試験によって輪地切り省力化の効果を確認済み。詳細はパンフレット「モーモー輪地実証試験中間報告(2)」参照)の技術の確立・普及に向けて、導入を希望する牧野組合に対して必要な資材(電気牧柵、給水施設)を貸し出し、「モーモー輪地切り」を試していただきました。
- 平成14年には6牧野組合、平成15年には13牧野を「モデル牧野」として実施。設置した電気牧柵の延長は、合計約50kmに及びます(阿蘇郡内輪地総延長は640km)。
- 地形や立地条件により全ての輪地に適用できるとは言えませんが、牛の管理や環境保全での利点も大きく、普及が期待される省力化技術です。

牧野内の小規模点在樹林地除去

- 牧野内に島状に点在する樹林地(不要人工林や侵入木群等)の周りの輪地切りが負担となり、野焼きが行われず、周辺での藪化が進行している牧野が多くあります。そのため、これらの樹林地を試験的に除去して、火入れ可能な状態に戻すことで、草原復元作業を支援しました。
- 平成14年は、阿蘇町の1牧野組合を「モデル牧野」として、約6haの樹林を除去することにより、約30haの野焼きが可能となりました。
- さらに平成15年に1牧野、約2haの樹林を除去しており、今後、除去地の草原への回復経過等を観察していきます。

小規模点在樹林地除去のイメージ



平成14年点在樹林地除去対象林(航空写真)

実施牧野位置図

